

巻頭言	科学と心の時代。さて、食は……	森枝卓士	1
序章	宗教と食との深いつながり	南直人	9

第I部 食にひそむ信仰

第1章	諸民族の信仰と食	山田仁史	18	
	はじめに	食物の起源	日常食の作法	儀礼における飲食
	飲食と禁忌忌避	飲食とアイデンティティ	おわりに	
第2章	先住民族の「世界知」と食		42	
	——北西アマゾンの場合	武井秀夫		
	はじめに	北西アマゾンと先住民トゥユカ		
	トゥユカ世界の生成と統御	「世界知」という概念		
	トゥユカの食と性的な力	トゥユカの世界で「食べる」こと		
	集団儀礼	食物規制と呪文	呪文⇨知識と世界知	

第II部 西方起源の「三宗教」

第1章	ユダヤ教——神との契約	市川裕	68
	序——ラビ・ユダヤ教の成立と特徴		
	食の儀礼化における六つの主題	結語	
第2章	キリスト教——聖体としてのパン	寺田勇文	90
	はじめに	キリスト教と食物のタブー	「希望の食卓」
	聖体拝領	拝領のしかた	聖体のつくられ方
	プロテスタントの聖餐式	日本占領下のフィリピンの	
	おわりに		
第3章	イスラーム——コーランとハディースから	黒木英充	109
	はじめに	イスラームとは	
	コーランとハディースのなかの食	おわりに——最近の二つの潮流	

